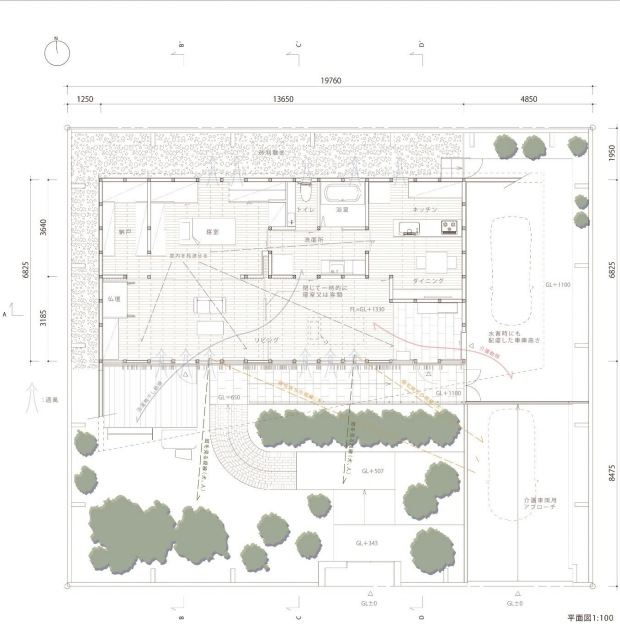


hanai

【計画概要】
 計画地=愛知県あま市
 構造種別=木造平屋
 建物用途=個人住宅
 用途地域=第二種中高層住居専用地域
 防火指定なし(2条地域)
 敷地面積=341.23㎡
 建築面積=121.83㎡
 延床面積=93.11㎡
 最高高さ=4.450mm
 軒高=4.350mm



【設計主旨】 2匹の犬と鎌主のための住宅

建主は元々この敷地で築40年以上の木造2階建てに住んでいたが、しかし2匹の犬が高齢になってきたこと、自身が60代半ばに差し掛かったことで2階を全く使わなくなった。本計画ではそれらの生活の変化に伴い、見過しの取れる平屋への建替えを行った。

この地域は厚々水害が起きているエリアであり、特に敷地周辺部では道路面から800mm程度の高さまで水が押し寄せ、大雨時には近くの少し小高くなっている公共施設の駐車場に車を預ける光景が見られる。そこで、室内の床と車庫を道路面から1100mm以上とし、日常的な大雨には在宅で対処できるものとした。

入口から道路までの歩行動線は緩やかなものとし、ここで暮らす建主と犬が室内から庭を通りながら道路へ出ることや、時々施設から帰って来る90代のお母様の介護動線にも配慮してい

る。また、歩行動線とは別に介護車庫が玄関近くまでアプローチできる車庫を適切に配置した。

軒は西に行くにつれて高く広くし、南側には高さの異なる開口を設け、個々に異なる間隔で大製の縦ルーバー(断面30×120mm)を並べて覆った。こうすることで、小型犬の庭への視線を確保するとともに、室内の南側半分を占める一つの大きなリビング空間に、光と風の入り方の変化をつける。また、床を高くしたことであらゆる道を歩きやすさと視線の交錯を和らげ、外部からの侵入を減らしたり、暑気時には涼を守るなどの役割を持つ。

「水害対策」、「動線」、「視線」の観点を軸に、建主の新たな生活のスタートに寄り添い、家族、環境、日常といった要素をおらかな空間の構成でシンプルにまとめた。

